

新・神戸アジア経営塾の取り組み

平成27年12月9日(水)

ひょうご・神戸国際ビジネススクエア
神戸市アジア進出支援センター
顧問 村元 四郎

<http://www.city-kobe-asiabiz.com/index.html>

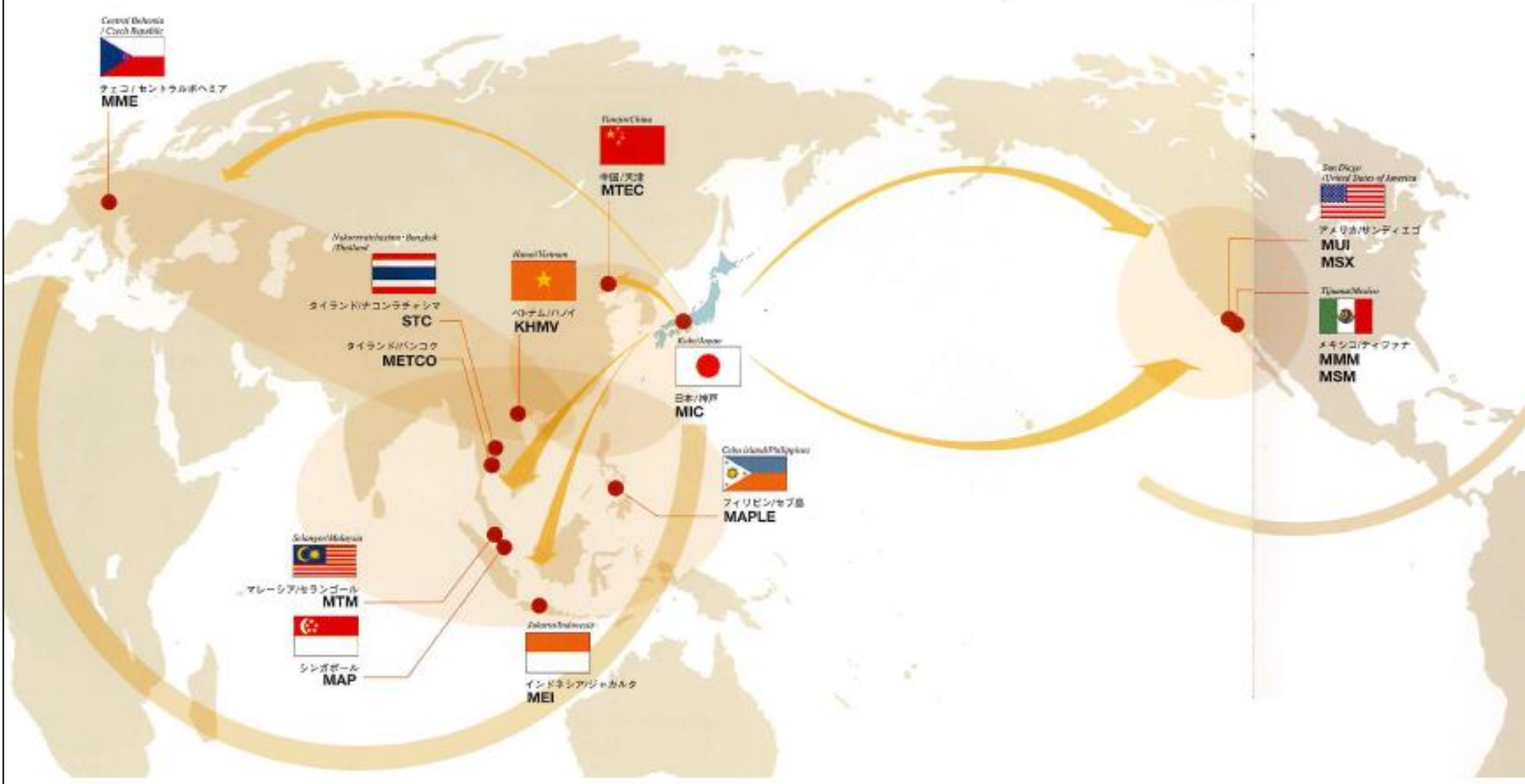
村元工作所 本社 西神第2工場



本社 西神第2工場

村元工作所 グローバルネットワーク

世界中のどこでも、MURAM OTO品質を。



Muramoto Audio-Visual Philippines, Inc.



CDチェンジャー組立ライン



ATM用紙幣カセット組立ライン



高密度実装ライン



順送プレス機



単発プレスライン



樹脂成形ライン

Muramoto Electron (Thailand) Public Co.,Ltd.



プレスライン PRESS LINE

出所: 村元工作所ホームページ及びパンフレット

Muramoto Electron (Thailand) Public Co.,Ltd.



車載オーディオ前面パネルユニット組立ライン
出所: 村元工作所パンフレット

キーレスエントリー送信機組立ライン

CDシングルメカユニット組立ライン

Muramoto Electron (Thailand) Public Co.,Ltd.



高密度実装ライン SMT LINE

プリンター組立ライン PRINTER ASSY LINE

出所: 村元工作所ホームページ及びパンフレット

2010年 海外展開支援策の検討開始

環境

中小製造業を取り巻く事業環境の変化

1. 市場・マーケットの急激な変化
2. リーマンショック以降、中小企業の海外進出が加速
3. 国・地方公共団体の、中小企業の海外展開支援へ方針転換

従来

神戸市：国内での挑戦を支援

1. 新分野への挑戦支援（医療機器開発、ロボット関連）
2. 国内販路開拓の支援（商談会の開催）
3. 人材育成支援（提案力向上）
4. 設備投資の支援（助成金）



発想転換

中小企業にとって生き残りのための選択肢として、競争力を高めるため、「海外展開も重要な選択肢ではないか？」

アジア進出支援センター設置経緯 & 概要 & 実績

経 緯	2010/秋～2011/3	2010年秋頃から中小製造業の海外展開支援について検討開始 アンケート （対象：市内中小製造業等1,304社）
	2011/4～2011/11	アジア進出研究会（座長：甲南大学安積教授） 5～6月 個別企業ヒアリング 実施（44社） 8月 東南アジア調査ミッション 11月 研究会からの提言
	2011/12～2012/7	2012年度予算化 神戸市アジア進出支援センター開所
	2014/5	ひょうご・神戸国際ビジネススクエア開設

	メニュー	概要	役割、定員
概 要	登録アドバイザー	・132名（海外在住の方も一部登録）	家庭教師（マンツーマン）
	夜の勉強会 （シリーズもの）	・留学生とともに学ぶ 新神戸アジア経営塾 ・中小企業のための海外販路開拓勉強会 ・アジア法務勉強会	塾 （定員20名）
	海外ビジネスミッション	・製造・教育現場、政府機関などを訪問し、ネットワーク形成、帰国後、報告会	合宿 （定員25名）

実 績	相談社数：150社超	登録アドバイザー：132名	セミナー回数、参加者数：66回、延4,268人
	海外ミッション（延べ数）：6回、企業—66社 73名、団体—18団体 20名、訪問国数 5カ国 9回		

新・神戸アジア経営塾

1. きっかけ

平成25年12月、留学生支援団体との出会い

2. 目的

- ① 企業側は留学生の出身国の文化、慣習を学び経営に役立てる。
- ② 留学生は日本の中小企業の経営の素晴らしさを学ぶ
- ③ 異文化交流、相互理解を深める。

3. 方法・特色

- ・ 座学中心ではなく、討議中心
- ・ 兵庫県、神戸市内の大学、アジア進出支援センターアドバイザーの協力

神戸市内製造業の99%は中小企業だが、留学生は知らない。

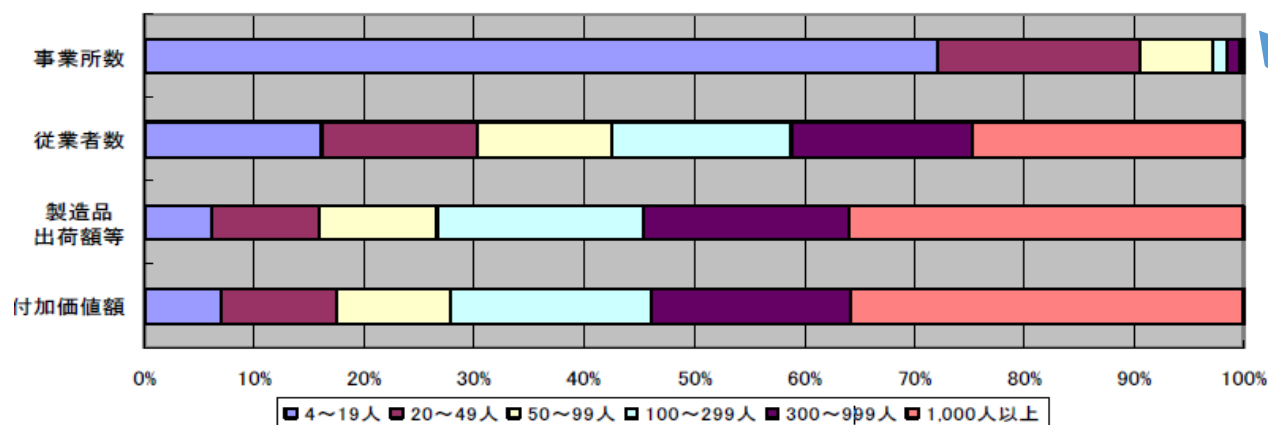
2010年工業統計調査結果より

1. 神戸市における従業者4人以上の製造業

事業所数	従業者数	製造品出荷額	付加価値額
1,864事業所	70,267人	2兆9,834億円	1兆823億円

2. 従業者規模別事業所数

主要項目の従業者規模別構成比(従業者4人以上の事業所)



従業員数300人未満の
中小製造業が98.5%

従業員50人未満の
中小製造業が88.1%

日本の中小企業の素晴らしさを留学生に伝えたい。

中小企業の海外展開を担う人材になってほしい。

	4~19人以下		20~49人		50~99人		100~299人		300~999人		1,000人以上	
	事業所数	構成比	事業所数	構成比	事業所数	構成比	事業所数	構成比	事業所数	構成比	事業所数	構成比
事業所数	1,308	70.2%	333	17.9%	120	6.4%	75	4.0%	22	1.2%	6	0.3%
従業者数(人)	11,136	15.8%	9,841	14.0%	8,479	12.1%	12,378	17.6%	11,317	16.1%	17,116	24.4%
製造品出荷額等(億円)	1,741	5.8%	2,736	9.2%	2,981	10.0%	7,060	23.7%	5,272	17.7%	10,045	33.7%
付加価値額(億円)	757	6.8%	1,109	10.0%	1,108	10.0%	2,387	21.4%	1,944	17.5%	3,826	34.4%

外国人留学生・中小企業双方の声

第1回目テーマ 「留学生が働きたい企業、企業が採用したい留学生」

- ・ 地元中小企業の経営者と外国人留学生（ベトナム人、ネパール人など）が参加
- ・ 中小企業側の声
 - 「日本語は出来て当たり前、これからはプラスワンが求められる。例えば経理が出来れば大きな武器になる」
 - 「現地での人事管理のエキスパートの道もある。日本との懸け橋になってもらいたい」
- ・ 外国人留学生の声
 - 「モノづくりの会社で働きたい。デザインの仕事をして将来は起業したい。日本で働きたい」
 - 「日本で学んだことを国に帰って役立てたい」
 - 「ネパールの留学生は大地震からの復興のため日本との経済交流に努め、日本企業を誘致したい」

第2回目テーマ 「中小製造業の経営者の自社の魅力発表が行われた後、留学生から見たその会社の魅力」

- ・ 地元中小企業の経営者外国人留学生（ベトナム人、タイ人、ネパール人など）が参加
- ・ 外国人留学生の声
 - 「社長が従業員と一緒に昼食をとるなんて、ラジオ体操を毎日するなんて、素晴らしいと驚きの声」

参考：神戸新聞記事 2015/6/18

「相互理解へ活発議論 県内中小企業とアジア留学生」

神戸新聞 2015年(平成27年)6月18日 木曜日

兵庫県の中小企業とアジアからの留学生が意見交換し関係を深める「新・神戸アジア経営塾」が開かれている。企業側は留学生の出身国について知り、留学生は今後の就職や起業について理解を深めるなど貴重な機会になっている。(黒田耕司)

相互理解へ活発議論

座学中心から転換

県内中小企業とアジア留学生の「経営塾」



企業の海外進出支援のため、神戸市や日本貿易振興機構(シエトロ)神戸、県でつくる「ひょうご・神戸国際ビジネススクエア」などが主催。同塾は昨年度から実施し、開催期間が約3カ月で座学中心だった。本年度から、より相互理解を深める場にしようと開催期間を拡大し、自由討論中心に転換した。12月に開講し、16年1月まで4回開く。12日の初回には食品や金型製造など企業十数社と、ベトナムやネパールから兵庫県立大、日本経済大に留学する学生ら計約40人が参加。留学生の就きたい仕事や将来の目標をテーマに意見交換した。留学生はそれぞれに夢や目標を語り、経営者は「日本で働きたいか、現地で起業したいか」と留学生の意向を尋ねていた。日本経済大に通うスレスタ・サナムさん(29)はネパール出身。4月の大地震で自宅が全壊したといい、「故郷の復興本との縁を企業にいたい」一方、アなど製(神戸市田崎久社加。ベト人があり

12日に開かれた「新・神戸アジア経営塾」。学生と企業経営者らが積極的に意見を交わした。神戸市中央区浜辺通5、神戸商工貿易センター

参考：第2回 新・神戸アジア経営塾



参考：第2回 新・神戸アジア経営塾

中小企業社長のプレゼンテーション

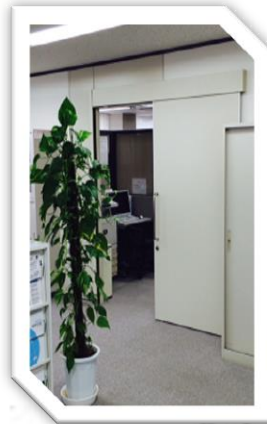


参考：第2回 新・神戸アジア経営塾



ひょうご・神戸国際ビジネススクエア

ジェットロとの内部通用扉

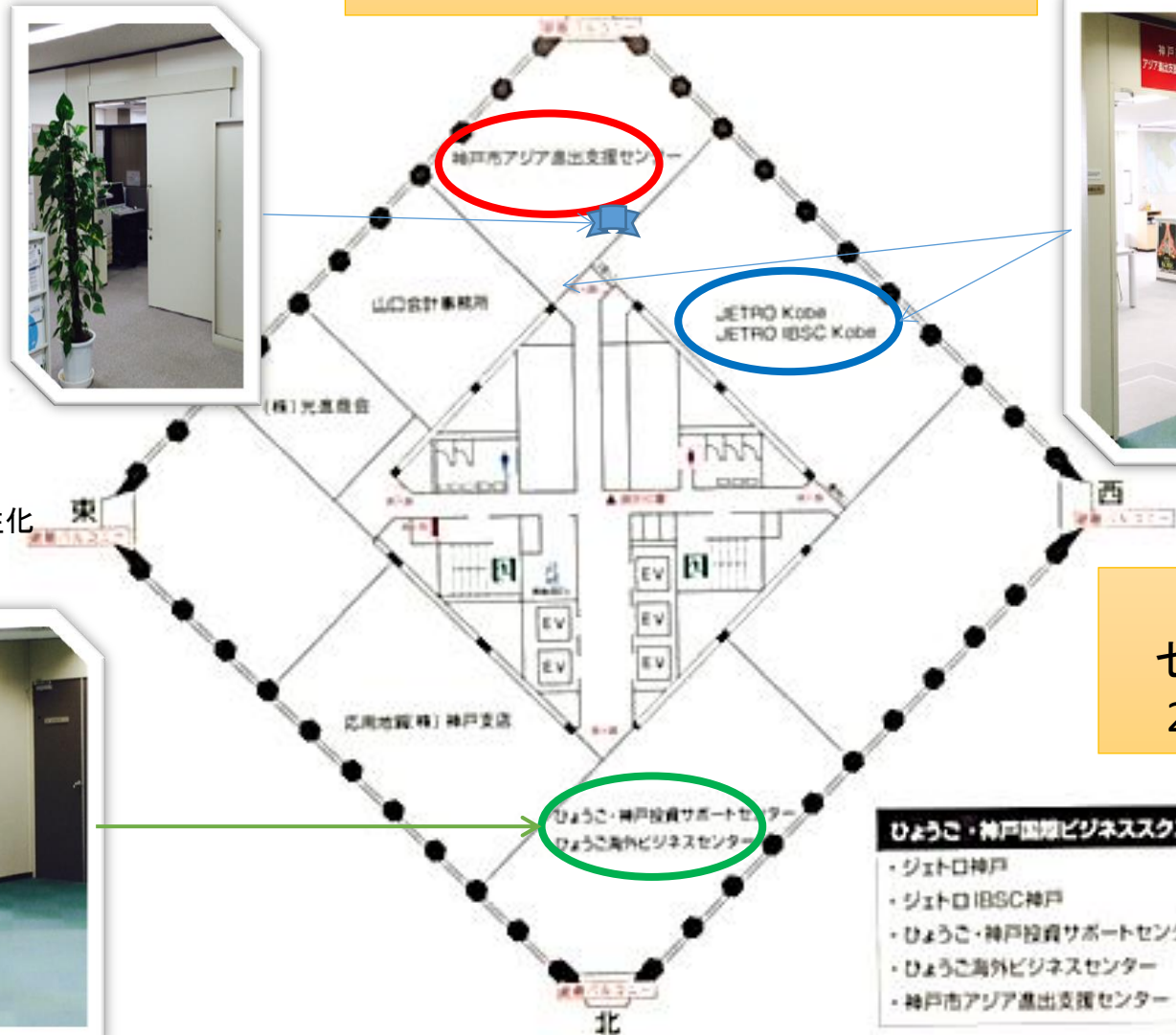


国・県・市のワンストップ相談窓口

神戸市とジェットロの入口



ひょうご産業活性化センターの入口



神戸商工貿易
センタービル4階
2014年5月発足

- ひょうご・神戸国際ビジネススクエア**
- ・ジェットロ神戸
 - ・ジェットロIBSC神戸
 - ・ひょうご・神戸投資サポートセンター
 - ・ひょうご海外ビジネスセンター
 - ・神戸市アジア進出支援センター